令和２年度第３回

瑞浪市夢づくり地域交付金等事業審査会　議事録

日　　時：令和３年３月１０日（水）　午後６時００分から午後７時４０分
場　　所：瑞浪市役所西分庁舎　１階会議室
出席委員：山内　正雄（委員長）、澤井　芳美（副委員長）、上田　小夜子、
平中　学、逸見　企代江、大宮　康一

※ 委員６名中６名の出席であり、委員の過半数の出席となり、瑞浪市夢づくり地域交付金等事業審査会規則第６条第２項の規定により、本会議は成立。

事 務 局：瑞　浪　市　長　水野　光二
：まちづくり推進部長　景山　博之
：市 民 協 働 課 長　工藤　嘉高
：まちづくり支援係長　渡辺　裕
：まちづくり支援係　中筬　高弘

日　　程：
１．あいさつ
２．市民活動補助金事業事前審査の進め方について
３．市民活動補助金事業事前審査
４．ステップアップ事業事前審査の進め方について
５．ステップアップ事業事前審査
６．講評
７．事務連絡
８．閉会

【１．あいさつ】

・市長あいさつ

本日は大変お久しぶりに皆さんにお会いしている気がします。
本日はこの審査会のためにお越しいただきありがとうございます。
昨今のコロナの状況ですが、瑞浪はしばらく感染者ゼロが続いていましたけれども、ついには、クラスターと言われる状況まで市内で発生してしまっています。
しかしながら、みどり幼児園については、終息したのかなといった感じになっています。病院につきましては、まだ新規の感染者も出ていて、まだ予断を許さない状況といえますが、しっかりと対策をとっていただきまして、外来は続けていてい

ただいていますし、今後は終息していくと良いなと考えています。

コロナを完全に終息させるにはワクチンが有効であるとも考えられますが、国・県より、いつ瑞浪に、どれだけ届くかといった詳細に情報は来ていませんが、４月下旬に１０００人分のワクチンが届くことは情報として提供いただきました。

この１０００人分については、福祉施設を中心に打つということであります。ここここから接種を始めていきます。これ以降いつ、どれだけワクチンが届くかといった情報については、先ほどより申し上げているように明確なことは分かりませんが、いつ配布されても良いように対策室を設置しておりますし、この３月にはコールセンターも開設しました。接種に不安を感じられる市民の対応をしますし、接種は完全予約制でして、このコールセンターにて予約を受け付ける予定です。

最初は市民体育館で集団接種を行う予定です。その後コミュニティセンターがある地域はコミュニティセンターで、また小中学校も検討しています。

なんとか年内には１６歳以上の対象者全員に接種ができると良いなと考えております。

そんな状況でもありますから、今年度については、まちづくり活動につきましても、中止であるとか、規模を縮小しての開催を余儀なくされていらっしゃいます。

しっかりとコロナ対策をしていただいてはおりますが、中止が多かったように感じます。ただし、これからは、対策をしながら、できるものはしっかりと事業を開催していって欲しいと思っています。今回は市民活動補助事業及びステップアップ事業の審査ということで、慎重な審査とともに、アドバイスをいただきたいと思っています。

・審査委員長あいさつ

ただ今、市長からのお話しにもありましたが、（新型コロナウイルスについて）わたくしも、外に出ることなく過ごしていましたが、これからもなかなか巣ごもりから抜け出ることができないなと感じております。市長もおっしゃいましたが、このような時期にでも活動をされる意気込みに敬意を払いながら、審査をしてまいりたいと思います。皆さん方も積極的な質問・アドバイスをぜひお願いしたいと思います。本日はよろしくお願いいたします。

【２．市民活動補助金事業事前審査の進め方について】

≪事務局より説明≫

【３．市民活動補助金事業事前審査】

中京学院大学短期大学部　野菜コンテストプロジェクトチーム

●委員

目標に掲げていらっしゃる、野菜摂取についての意識向上ですが、コンテストを通じて意識向上の兆しがあると考えられるものであるとか、どのような点に基づいて、効果を見定めているのか、ポイントを伺いたいと思います。

○中京

現在、高校生１，２００名に対してアンケート調査を行っております。期間をおいてアンケート調査をしていますが、残念ながら本日までにはまだ集計できていませんので、その集計を見てまた、どのように効果があったかなど検討できるのではないかと考えています。

●委員

料理コンテストの際に作成されたパンフレットですが、どこにどれだけ配布されていますでしょうか。

○中京

冊数としては５，５００部用意いたしまして、参加の飲食店さんであるとか、協力いただいている JA とうとさんであったり、市内の３高校に配布させてもらったりしています。特に高校では、このパンフレットを使って食育をしていただいていることもあり、各１，０００部ずつ配布しています。その他の諸施設にも配布させていただいています。

●委員

お金の問題もあるやもしれませんので、軽々に申し上げるつもりはないですが、せっかくこのようにいいパンフレットでありますので、小学校・中学校にも配布していただけると良いなあとは思います。あくまでも希望であります。

・市長コメント

コロナ禍といった状況で、このように素晴らしい活動をしていただきました。またこれだけ素晴らしい冊子を作成されましたので、ぜひとも市民の皆さんに広くいきわたるように配布いただけると良いなと思います。また、事業費の上限はまだ少し余裕がありますので、総事業をもっと広げていただいて、効果向上を図っていただいても良いとも思いますので、ぜひ検討をお願いします。

瑞浪青年会議所

●委員

記念品代とありますが、想定しているものはありますか。

○青年会議所

まだ変更の可能性は十分ありますが、陶器のバッジのようなものを地元の事業者さんに作成いただき、記念品にするといったことを考えています。

●委員

楽しそうな取り組みですので、期待しています。出店者数１０団体ということで

すが、この事業者数は、より多くの来場者数を期待するためには、この１０団体といった数字が妥当か否かといったことでもあるのですが、面積的な問題でこの１０団体となっているのか、まだ増やせる可能性もあるのかといったことも聞きたいところです。

○青年会議所

スペースの観点から、導き出した１０団体になります。多くの店舗があったほうが来場者に繋がることは、おっしゃるとおりだと思いますが、どうしてもスペースの観点から考えると、この団体数となってまいります。場所としては、市民公園のカフェの裏手にある遊歩道のスペースで考えています。カフェ前の敷地は協力団体が使用し、開催するといったことで話を進めていますので、スペースの都合上、このような形となっています。また、団体については、公募を考えていますが、個別交渉も検討しているところです。

・市長コメント

青年会議所らしい企画を提案していただいています。コロナ禍ということもあり、なかなか地域活性化に繋がる事業については、行政としても行政のみでは、難しい場面が多々ありまして、このような活動は大変素晴らしい取り組みだと考えます。若い方たちがどんどん事業を立ち上げて、地域活性化に繋がることを願っています。しかしながら、９月といった時期ですと、ワクチンを接種している最中ですので、しっかりと対策をしていただいて開催をお願い致します。とりわけ飲食店が出店されますと、どうしてもマスクを外して行動される機会が多いと思いますので、その辺りの計画をしっかりと立てていただければと思います。また、来年を第１回として、継続していきたいとの話がありましたので、ぜひともこの補助金を活用いただいて、継続していただきたいと思います。

【４．ステップアップ事業事前審査の進め方について】

≪事務局より説明≫

【５．ステップアップ事業事前審査】

明世地区まちづくり推進協議会

●委員

環境整備をした際に放流された幼虫のみが成虫になり光り輝くのでしょうか。自然に生育することはあるのでしょうか？

○明世

できるだけ自然に近い状態で、繁殖させるのが、望ましいです。しかし、近くの狭間川は、大雨で鉄砲水といいますか、増水が生じます。そうした危険性のある河川の横で繁殖させるわけですので、なかなか難しい状況です。自然に生育する

ケースですと、卵を水路にあるコケに産み付けて、孵化するのですが、さきほど申し上げた環境ですと、自然に生育するのは、数が知れているといいますか、少ないものとなります。ですので、自宅で人工的に交尾させ卵を産ませています。得られる幼虫が２万匹くらいです。その中で人工水路や等に配分して成虫にしています。知り合いの方に少し譲ったり、瑞浪地区のまちづくり推進協議会にお渡ししたりといったこともしています。そういったことで、なかなか自然育成では実績が伴いませんので、人工的に飼育することにしているのが現状です。

●委員

一回に卵は何個くらい産むものなのですか。

○明世

一匹で約 1,000 個程です。しかし、少ない場合は１匹で 200~300 個といったこともあります。平均して 700 個くらいです。

●委員

私の地元、陶では、私が小さいころにホタルが乱舞しておりましたが、どうも最近は見なくなったと聞いています。河川等の管理が大変重要なのだなと感じました。

○明世

そうだと思います。前の年の秋が重要で、秋の天候が荒れ気味だと少ないという状況が生まれやすいです。特にゲンジボタルの餌のカワニナで、その生育が天候にも影響されます。

【６．講評】

私も奥村さんが手がけられた、ホタルのご説明を聞いたことがあります。今までは、ある意味で個人で頑張ってこられたものを明世のまちづくり推進協議会が、皆で頑張っていこうよといったスタートを切られるということで大変楽しみにしています。やはり個人で行っていくのは限界が訪れる可能性もありますし、公共的な事業でもあります。子供たちの育成にも、まちの特色にもなります。ぜひともまちづくりの看板事業として継続いただき、成果をあげていただきたいと思います。瑞浪市がホタルのまちになっていることを想像しているところです。ぜひこの交付金を有効にお使いいただき、大きな成果を残されることを期待します。

【７．事務連絡】

≪事務局より説明≫

【８．閉会】

≪まちづくり推進部長より閉会のことば≫